



みやぎ

— 44号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホムㇿㇿ http://www.mnh.go.jp/

平成27年度のスタートにあたって

院長 清野 仁

草木が一斉に芽吹き、桜前線もあつという間に日本列島を駆け上がって、色彩豊かな本格的な春を迎えました。今年も170本を超える宮城病院の桜は見事な姿を見せてくれました。

この時期は、四季の中でも、卒業や入学などの行事と相まって、別れや新しい出会いなど、様々な感情が交錯する季節でもあります。

当院におきまして、3月31日には32名もの大勢の仲間を送り出しました。退職や人事異動で病院を去られた方々には、これまで、大震災など、数々の試練、課題を乗り越え、現在の宮城病院を共に築いていただきましたことに、この誌上を借りてあらためて、心より感謝を申し上げる次第です。

一方、4月に入り、新規採用や人事異動などで多くの新しい仲間を迎え入れることができました。卒業したばかりの新社会人も、5日間の新人研修を難なく終え、その初々しく、澁刺とした姿には、大きく成長し、大いに当院を活性化してくれるものと期待しているところです。また、今年度は、新たに事務部長、看護部長、経営企画室長の3人の幹部職員をはじめ、多くの経験を積まれた大勢の職員の方々を迎えることができました。この新しい体制で、新法人への移行に伴う様々な課題等に取り組み、乗り越えていきたいと考えております。

(次ページへ)



前列左から：安藤統括診療部長、菅原看護部長、
 清野院長、久永副院長、
 伊藤臨床研究部長
 後列左から：遊佐経営企画室長、大泉企画課長、
 横山事務部長、菅野薬剤部長、
 檜崎副看護部長、砂田管理課長

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

国立病院機構はこの4月1日、新たに非公務員型の非特定独立行政法人になりました。とはいえ、多くの領域において国家公務員法が適用され、また個々の病院には、公経済負担や労働保険料負担が加わることになります。当院の経営につきましては、平成26年度は前年度に比してやや回復の兆しも見え、2年ぶりに年度末賞与を支給することができました。しかし、今年度からの新たな負担増はこれまでの黒字幅を完全に飲み込んでしまい、経営への影響が大きく懸念されるようになってきました。現在、南b病棟を地域包括ケア病棟へと転換する準備を進めるなど、経営改善の方策を模索しているところです。

大震災から早4年が経過し、宮城病院のある山元町でも復興の形が目に見えるようになってきました。JR常磐線の再開通は2年先ですが、新駅周辺地区では新市街地の宅地分譲が始まり、また大型スーパーの誘致も決定するなど、利便性のある町作りが一步一步着実に進んでいることが実感できるようになってきております。これからも引き続き、宮城病院は、町の復興とも歩調を合わせて、この機会を、むしろ好機ととらえて、一層発展していかなければならないものと考えております。

当院の医療が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に「安全で心を込めた良い医療」を提供していきたいと考えています。

本年度もどうぞ宜しくお願いします。

国立病院機構QC活動で優秀賞を受賞 『MRI検査における金属類の持込みをゼロにする試み』

今回、放射線科で取り組んだQC活動が、機構本部より賞を頂くことが出来ました。宮城病院では3位だったので大変びっくりしましたが、機構本部でも医療安全に関するテーマに取り組んだことがすごく評価されました。



MR I検査を行うにあたり、最も多いインシデントの一つに金属類の持込みがあります。MR Iではひとたび金属が持ち込まれば、大事故につながる可能性もあります。そこで私達は『MR I検査における金属類の持込みをゼロにする試み』というテーマでQCストーリーをスタートさせることにしました。現状を把握し、要因を分析し、新しい問診票を作成することで無事に目標を達成することができました。

いろいろと大変でしたが、診療放射線技師長、

撮影透視主任をはじめ、放射線科が一つになり無事QCストーリーを完結することが出来ました。また原因追求や対策を行う課程で不明瞭だったシステムの不備と患者目線に立つことの大切さをあらためて感じました。シナジー効果としてスタッフ間の連帯感がよりいっそう強くなりました。そして宮城病院での私達の取り組みが評価されてよかったです。

ありがとうございました。



(診療放射線技師 加藤 伸一)

平成27年度 永年勤続表彰伝達式

平成27年4月23日（木）に、勤続20年及び30年以上の永年勤続表彰伝達式が大会議室で行われました。今年度は清野院長が勤続20年表彰となっていたため、まず最初に久永副院長より院長に表彰状と記念品が授与されました。その後、清野院長より6名の受賞者に表彰状と記念品が授与され、永きにわたり職務に精励された事に対する労いとお祝いの言葉が贈られました。また受賞者を代表して三浦幸一理学療法士長より、感謝と新たな決意を込めたお礼の言葉がありました。受賞者の方々はこれまでの勤務を思い、喜びと同時に月日の流れを実感しているようでした。

受賞された皆さま、改めましておめでとうございます。

（管理課長 砂田 雅和）

勤続30年以上表彰者

小西 寛子（歯科医長）、三浦 幸一（理学療法士長）
檜崎 信子（副看護部長）、稲山 洋子（看護師）
大竹 由弘（副調理師長）



勤続20年以上表彰者

清野 仁（院長）、船田 枝美（医療安全管理係長）

軽装励行期間の実施について

例年、夏期における一層の省エネを推進する観点から、軽装励行期間を設けております。

今年度も昨年度同様、5月1日から10月31日までを暑さをしのぎやすい服装での軽装励行期間として設定しております。各職場においても併せて気温等の状況を確認のうえ、省エネに努めてくださるようお願いいたします。

紹介医療機関（3月末日現在）ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック（99件）
- ・東北大学病院（51件）
- ・平田外科医院（45件）
- ・みやぎ県南中核病院（38件）
- ・三浦クリニック（32件）
- ・やべ内科クリニック（62件）
- ・南東北病院（50件）
- ・公立相馬総合病院（42件）
- ・渡辺病院（36件）
- ・金上病院（29件）

上位10医療機関のほか、県内外200医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成27年4月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				齊藤 秀行		
			神部 陽子	神部 陽子		
				仙台医療センター		
神経内科	新患	伊藤 博明	松本 有史	久永 欣哉	東北大学病院	東北大学病院
	再来	久永 欣哉	久永 欣哉			久永 欣哉
		今井 尚志	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科(午後)				県立がんセンター (13:30~15:30)	県立がんセンター (検査日)	
循環器科	午前		東北大学病院 (再来)			東北大学病院から
	午後	東北大学病院 (新患)				
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 郁子	堀川 雅浩	大島 郁子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 郁子	堀川 雅浩	大島 郁子	堀川 雅浩
整形外科(午後)			県立がんセンター (13:30~15:30) 第1・3・5週			県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科(午後)						澤村 武 志藤 祥子 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
		(仁村 太郎)				永松 謙一
皮膚科					東北大(第3木)	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	神経内科外来にて随時受付				
	もの忘れ外来	神経内科外来にて随時受付				
	頭痛外来	神経内科外来にて随時受付				
	ALS外来	今井 尚志				
	糖尿病外来				東北大学病院	
	禁煙外来(午後)					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来(午後)					
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	腎臓病外来(午後)					東北大学 (第1・3週)
入れ歯外来				伊藤 秀美	伊藤 秀美	

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、救急の方は随時受け付けいたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,700円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約4.0km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約2.0km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から■

JR常磐線亶理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

